

おおつち 議会だより

No. 175

2024年5月7日発行
発行 大槌町議会



主な内容

■ 令和6年度当初予算を審議 4

■ ここが聞きたい！一般質問 8～15

■ 私たちの考えを議場で発表！ . . . 16～15

大槌の春の風物詩

▶ 関連記事 18ページ

議長あいさつ

今期定例会は2月29日に開会し、15日間の日程で行われ、一般質問には7議員が登壇し、町政課題について議論を交わしました。

また、令和6年度各会計の当初予算審議については、議員全員による予算特別委員会において、活発な質疑と慎重な審議が行われたと感じております。

令和6年度予算は、第9次大槌町総合計画に掲げる施策を着実に推し進めつつ、持続可能な財政運営の確立を図るための予算編成となっております。

町が今年度の重点事業として掲げている、人口減少に対応した地方創生への取り組みを進めていくとともに、地場産業の拡大や防災・減災、自治体DXの推進、こども・子育て支援の充実を図る取り組みについて、町当局、関係機関とともに最善の努力をしてまいり所存であります。今後も町議会は町民の皆様へ寄り添い、皆様とともに安心して暮らせる大槌町とするため、議員一丸となり取り組んでまいります。



小松 則明 議長

令和6年3月定例会の概要

令和6年3月定例会は、2月29日から3月14日までの15日間の会期で開催されました。今期定例会には、「大槌町環境基本計画」の策定に係る報告、「大槌町障がい福祉プラン」の策定に係る報告、「第9次大槌町総合計画後期基本計画」の策定のほか、各地区集会所等の管理を行う指定管理者の指定、5年度の各会計補正予算、6年度の各会計当初予算など、報告4件、議案46件が提案されました。また、一般質問には7議員が登壇し、町当局の姿勢や施策をたどしました。

3月定例会議案ピックアップ

【議案】

◎指定管理者の指定

公の施設（11施設）の管理を行う指定管理者の指定については下表のとおりです。

公の施設の名称	指定管理者の名称	指定期間
かみよ穂館	前段地域振興会	令和6年4月1日から 令和11年3月31日まで
長井清流館	長井地域交流推進委員会	
大槌町多目的集会所	源水・大ヶ口地域協議会	
小槌地区多目的集会所	小槌三隣会	
大槌町蕨打直地区集会所	蕨打直地区振興会	
上町ふれあいセンター	大槌町上町第一自治会	
大槌町沢山地区集会所	沢山町内会	
大槌町花輪田地区集会所	花輪田自治会	
大槌町臼澤寺野地区ふれあい集会所	臼沢自治会	
大槌町小枕地区集会所	小枕地区自治会	
大槌町枳内地区集会所	枳内町内会	

議会の動き

〈2月〉

9日・岩手沿岸南部広域環境
組合議会2月定例会

・合同常任委員会

15日・議会全員協議会

・宮古・釜石地区選出岩手
県議会議員との懇談会
(盛岡市)

16日・東部町村議会議長会臨時
総会(盛岡市)

・岩手県町村議会議長会
第75回定期総会(盛岡市)

19日・岩手県後期高齢者医療広
域連合議会2月定例会

22日・釜石大槌地区行政事務
組合議会2月定例会

26日・議会運営委員会

29日・3月定例会(14日)

・議会報編集委員会

9日・令和5年度自衛隊入隊予
定者激励会(釜石市)

11日・大槌町東日本大震災津波
追悼式

26日・議会運営委員会

28日・令和6年第3回臨時会

〈4月〉

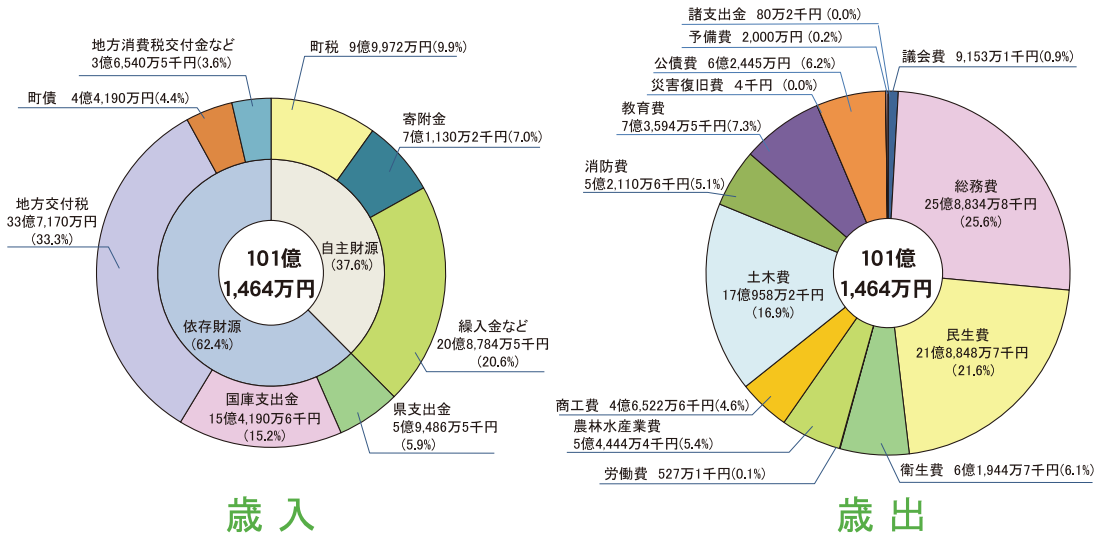
6日・令和6年度大槌町はま留
学生歓迎式

13日・三陸鉄道開業40周年記
念式典(宮古市)

19日・合同常任委員会

令和6年度 一般会計予算の内訳

予算総額 10,114,643千円（補正後）



※それぞれの数値については端数処理の都合上、合計金額やパーセンテージが合わない場合があります。

令和6年度 各種会計予算額

会計区分	一般会計	特別会計		
		国民健康保険	介護保険	後期高齢者医療
当初予算額	101億700万円	14億3,073万7,000円	14億3,084万9,000円	1億5,089万9,000円
第1号補正後	101億1,464万3,000円	—	—	—

第1回臨時会

令和6年第1回臨時会は1月26日に開催され、議案2件が提案されました。

◇議案—*

◎その他

▽財産の処分について：東日本大震災津波により建設した災害公営住宅を、東日本大震災復興特別区域法に基づき譲渡するもの。
(全員賛成・原案可決)

◎予算

▽令和5年度大槌町一般会計補正予算（第8号）を定めること：令和6年能登半島地震に係る寄附金及び物価高騰に伴う低所得者世帯支援等の補足給付金等の計上により増額補正し、歳入歳出予算に4億4,669万8千円を追加し、予算の総額を125億8,834万円とするもの。
(全員賛成・原案可決)

第2回臨時会

令和6年第2回臨時会は2月15日に開催され、議案1件が提案されました。

◇議案—*

◎予算

▽令和5年度大槌町一般会計補正予算（第9号）を定めること：大槌学園空調設備貸借事業について、債務負担行為を設定しようとするもの。
(全員賛成・原案可決)

第3回臨時会

令和6年第3回臨時会は3月28日に開催され、議案8件が提案されました。

◇議案—*

◎予算

▽令和6年度大槌町一般会計補正予算（第1号）を定めること：大槌学園空調設備貸借料及び住民税システム改修業務委託料計上により増額補正し、歳入歳出予算に764万3千円を追加し、予算の総額を101億1,464万3千円とするもの。
(全員賛成・原案可決)

議案のここがポイント！

大槌学園へのエアコン増設が決定

議案第56号、財産の取得については、大槌学園の空調設備（室外機32台、室内機32台、付帯設備一式）を取得（所有権移転付き賃貸借契約の期間満了後の無償譲渡）するものです。教室等の既存の空調設備のみでは、近年の夏場の気温上昇により児童生徒の学習・生活環境に支障があるだけでなく、熱中症など健康面においても悪影響が懸念されることから、早急な増設が求められていました。対応策の比較検討を行い、今回のエアコン賃貸借事業に至ったことから、今年の夏中にエアコンが整備される予定です。

令和6年度当初予算を審議

令和6年度一般会計予算総額 10,114,643千円(補正後)

～総合計画に掲げる施策を着実に推し進める～

*予算特別委員会

予算特別委員会は、3月8日から14日までの日程で開催されました。委員長に佐々木慶一議員、副委員長に澤山美恵子議員を選出し、本会議で付託された令和6年度一般会計予算など6会計の予算について審査しました。予算特別委員会での審査終了後、本会議を再開し、採決の結果、令和6年度の特別会計など5会計の予算は、全議員賛成により原案のとおり可決となりました。

予算編成方針

令和6年度予算は、第9次大槌町総合計画に掲げる施策を着実に推し進めつつ、持続可能な財政運営の確立を図るための予算編成としており、人口減少に対応した地方創生への取り組みを進めていくとともに、地場産業の拡大や防災・減災、自治体DXの推進、こども・子育て支援の充実を図る取り組みについて、継続して重点的に推進していきます。

◇注目事業

ピックアップ

令和6年度実施事業の一部を紹介します。

◇新規事業

●特定地域づくり事業 協同組合連携事業 (685万8千円)

特定地域づくり事業協同組合制度を活用し、

安定的な雇用環境と一定の給与水準を確保した職場を創出し、地域内外の人材を呼び込むとともに、地域事業者の担い手不足を解消しようとするものです。令和5年に起業した、おつち百年之業協同組合の運営に対して支援を行うものです。

●空き家等対策事業 (740万7千円)

町内の空き家等の実態把握のため調査を実施します。

●空き地・空き家利活用 推進事業(300万円)

「空き地・空き家情報バンク」を活用した空き地・空き家の有効活用を推進

●集落支援員配置事業 (1,399万4千円)

行政と地域とのつなぎ役となる集落支援員を配置し、地域の実情に沿った施策の展開を図ります。

するため、バンクを利用する所有者や利用者に対し、物件の登録・維持管理・購入にかかる費用の一部を支援しようとするものです。

定例会・臨時会議員出欠表

3月定例会は予算特別委員会(4日間)を含みます。

議席番号	議員氏名	第1回臨時会		第2回臨時会		3月定例会		第3回臨時会	
		1/26	2/15	2/29～3/14	3/28	出席	欠席	出席	欠席
1	佐々木大作	1	0	8	0	1	0	1	0
2	山崎 充	1	0	8	0	0	1	0	1
3	菊池 忠彦	1	0	8	0	1	0	1	0
5	白澤 良一	1	0	8	0	1	0	1	0
6	佐々木慶一	1	0	8	0	1	0	1	0
7	澤山美恵子	1	0	8	0	1	0	1	0
8	阿部 三平	1	0	8	0	1	0	1	0
9	東梅 守	1	0	8	0	1	0	1	0
10	阿部 俊作	1	0	8	0	1	0	1	0
11	東梅 康悦	1	0	8	0	1	0	1	0
12	芳賀 潤	1	0	8	0	1	0	1	0
13	小松 則明	1	0	8	0	1	0	1	0

大槌町議会事務局からのお知らせ

〈令和6年度の体制〉

- ・ 事務局長 関 貴 紀
- ・ 主幹兼事務局次長 澤 館 悦 子
- ・ 議事係長 阿 部 司

どうぞよろしくお願い申し上げます。
TEL 0193-42-8772

定例会・臨時会審議結果一覧

令和6年3月定例会 審議結果一覧

報告第1号	「大槌町地域防災計画」の修正に係る報告について 大槌町地域防災計画に含まれている「日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震防災対策推進計画」において、国・県との協議を踏まえ当該計画を修正したことから報告するもの。	—
報告第2号	「大槌町環境基本計画」の策定に係る報告について 「大槌町環境基本条例(平成15年条例第3号)」第7条に基づく「大槌町環境基本計画」を策定したことから報告するもの。	
報告第3号	「大槌町障がい福祉プラン」の策定に係る報告について 障害者基本法(昭和45年法律第84号)、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(平成17年法律第123号)第88条及び児童福祉法(昭和22年法律第164号)第33条の20に基づく「大槌町障がい福祉プラン」を策定したことから報告するもの。	
報告第4号	「大槌町老人福祉計画・第9期介護保険事業計画」の策定に係る報告について 老人福祉法(昭和38年法律第133号)第20条の8及び、介護保険法(平成9年法律第123号)第117条の規定に基づく「大槌町老人福祉計画・第9期介護保険事業計画(○(まる)ごとプラン9)」を策定したことから報告するもの。	
議案第4号	大槌町固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例について 行政手続における町民の負担軽減及び行政サービスの効果的かつ効率的な提供に資するため、押印を求める手続の見直しを実施することに伴い、所要の改正を行うもの。	可決 (全員賛成)
議案第5号	大槌町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律(令和5年法律第48号)等の施行に伴い、所要の改正を行うもの。	
議案第6号	大槌町土地開発基金条例を廃止する条例について 当該基金の設置目的である公用若しくは公共用に供する土地又は公共の利益のために取得する必要のある土地の先行取得の必要性が薄れ、今後の活用も見込まれないことから、大槌町土地開発基金条例を廃止するもの。	
議案第7号	大槌町土地開発基金管理委員会条例を廃止する条例について 「大槌町土地開発基金条例(昭和47年大槌町条例第11号)」の廃止に伴い、大槌町土地開発基金管理委員会条例を廃止するもの。	
議案第8号	大槌町印鑑条例の一部を改正する条例について 電子署名等に係る地方公共団体情報システム機構の認証業務に関する法律の一部改正に伴い、印鑑登録証明書を交付申請する際、コンビニの多機能端末機を利用する場合に、これまでのマイナンバーカードのほか、スマートフォン(移動端末設備)に記録した利用者証明用電子証明書を利用する方法を追加するため、条例の一部を改正するもの。	
議案第9号	大槌町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について 「母子保護法施行規則等の一部を改正する内閣府令(令和5年内閣府令第86号)」の施行に伴い、所要の改正を行うもの。	
議案第10号	大槌町介護保険条例の一部を改正する条例について 介護保険法(平成9年法律第123号)の一部を改正する法律(令和5年法律第31号)及び介護保険法施行令(平成10年政令第412号)の一部を改正する政令(令和6年政令第13号)及び地方税法(昭和25年法律第226号)の一部を改正する法律(令和5年法律第1号)が交付されたことにより、令和6年度から第9期介護保険事業計画が開始することから、第1号介護保険料の標準段階の見直し等を踏まえ所要の改正を行うもの。	
議案第11号	大槌町公民館条例の一部を改正する条例について 公民館の使用許可等の手続に係る様式を規則で定めることとするため、所要の改正を行うもの。	
議案第12号	大槌町火入れに関する条例の一部を改正する条例について 大槌町火入れに関する条例様式第1号(第2条関係)、火入れ許可申請書の押印を廃止するため、所要の改正を行うもの。	
議案第13号	大槌町地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律第9条第1項の規定に基づく準則を定める条例の一部を改正する条例について 「地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律(平成19年法律第40号)」に基づく次期岩手県基本計画が策定されるにあたり、条例の適用を受ける区域の範囲を変更する必要が生じたため、所要の改正を行うもの。	
議案第14号	大槌町道路占用料徴収条例の一部を改正する条例について 道路法施行令(昭和27年政令第479号)の改正施行に伴い、県が道路占用料徴収条例を改正施行(令和6年4月1日施行予定)することに併せ、所要の改正を行うもの。	
議案第15号	大槌町町営住宅等条例の一部を改正する条例について 町が設置及び管理する町営住宅のうち安渡町営住宅について、先般、耐用年数の超過等により解体し、その用途を廃止したことに伴い、所要の改正を行うもの。	

定例会・臨時会審議結果一覧

議案番号等	議 案 等	審議結果
議案第16号	大槌町町道の構造の技術的基準等を定める条例の一部を改正する条例について 令和3年5月28日に閣議決定された「第2次自転車活用推進計画」において、計画期間中に講ずべき措置として、「道路構造令(昭和45年政令第320号)第2条第15号に規定した『自転車通行帯』の設置について、地方公共団体の条例への位置付けを促進する」とこととされていることから、所要の改正を行うもの。	可決 (全員賛成)
議案第17号	大槌町水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について 地方自治法の一部を改正する法律(令和5年法律第19号)が令和6年4月1日に施行されることに伴い、引用する条文の繰下げが生じることから、所要の改正を行うもの。	
議案第18号	大槌町上水道事業給水条例の一部を改正する条例について 水道料金及び体系の改定並びに、生活衛生等関係行政の機能強化のための関係法律の整備に関する法律(令和5年法律第36号)が令和6年4月1日から施行され、水道法における各種権限が厚生労働大臣から国土交通大臣に移管することに伴い、所要の改正を行うもの。	
議案第19号	大槌町下水道条例の一部を改正する条例について 下水道使用料の改定に伴い、所要の改正を行うもの。	
議案第20号	大槌町水道事業布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例について 生活衛生等関係行政の機能強化のための関係法律の整備に関する法律(令和5年法律第36号)が令和6年4月1日から施行され、水道法における各種権限が厚生労働大臣から国土交通大臣及び環境大臣に移管することに伴い、所要の改正を行うもの。	
議案第21号	大槌町立学校施設使用条例の一部を改正する条例について 学校施設の使用許可等の手続に係る様式を規則で定めるため、所要の改正を行うもの。	
議案第22号	大槌町監査委員条例の一部を改正する条例について 地方自治法の一部を改正する法律(令和5年法律第19号)が令和6年4月1日に施行されることに伴い、引用する条文の繰下げが生じることから、所要の改正を行うもの。	
議案第23号	工事請負契約の締結について (仮称)鎮魂の森整備工事(その1)において、切土工、盛土工の数量増及び各工種等の数量精査に伴う契約金額の変更を行うもの。	可決 (賛成多数)
議案第24号	工事請負契約の締結について (仮称)鎮魂の森整備トイレ新築工事において、一般競争入札により、林崎建設株式会社と5,368万円で工事請負契約を締結するもの。	
議案第25号	工事請負契約の締結について 準用河川大ケロ川河川改修工事において、各工種数量精査等に伴う金額変更により、1,429万6,700円減額し、事業費総額を1億6,477万8,900円とするもの。	可決 (全員賛成)
議案第26号	かみよ稲穂館の管理を行う指定管理者の指定について	
議案第27号	長井清流館の管理を行う指定管理者の指定について	
議案第28号	大槌町多目的集会所の管理を行う指定管理者の指定について	
議案第29号	小槌地区多目的集会所の管理を行う指定管理者の指定について	
議案第30号	大槌町蕨打直地区集会所の管理を行う指定管理者の指定について	
議案第31号	上町ふれあいセンターの管理を行う指定管理者の指定について	
議案第32号	大槌町沢山地区集会所の管理を行う指定管理者の指定について	
議案第33号	大槌町花輪田地区集会所の管理を行う指定管理者の指定について	
議案第34号	大槌町臼澤寺野地区ふれあい集会所の管理を行う指定管理者の指定について	
議案第35号	大槌町小枕地区集会所の管理を行う指定管理者の指定について	
議案第36号	大槌町柵内地区集会所の管理を行う指定管理者の指定について	
議案第37号	「第9次大槌町総合計画後期基本計画」の策定について 令和6年度を初年度とする第9次大槌町総合計画後期基本計画を策定するもの。	
議案第38号	「辺地に係る公共的施設の総合整備計画」の変更について 徳並辺地に係る総合整備計画における第4分団1部・2部消防屯所整備の事業費を増額変更するもの。	
議案第39号	令和5年度大槌町一般会計補正予算(第10号)を定めることについて	
議案第40号	令和5年度大槌町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)を定めることについて	
議案第41号	令和5年度大槌町介護保険特別会計補正予算(第4号)を定めることについて	
議案第42号	令和5年度大槌町水道事業会計補正予算(第3号)を定めることについて	
議案第43号	令和5年度大槌町下水道事業会計補正予算(第1号)を定めることについて	
議案第44号	令和6年度大槌町一般会計予算を定めることについて	

定例会・臨時会審議結果一覧

議案番号等	議案等	審議結果
議案第45号	令和6年度大槌町国民健康保険特別会計予算を定めることについて	可決 (全員賛成)
議案第46号	令和6年度大槌町介護保険特別会計予算を定めることについて	
議案第47号	令和6年度大槌町後期高齢者医療特別会計予算を定めることについて	
議案第48号	令和6年度大槌町水道事業会計予算を定めることについて	
議案第49号	令和6年度大槌町下水道事業会計予算を定めることについて	

令和6年第1回臨時会 審議結果一覧

議案番号等	議案等	審議結果
議案第1号	財産の処分について 東日本大震災津波により建設した災害公営住宅を、東日本大震災復興特別区域法に基づき譲渡するもの。	可決 (全員賛成)
議案第2号	令和5年度大槌町一般会計補正予算(第8号)を定めることについて 令和6年能登半島地震に係る寄附金及び物価高騰に伴う低所得者世帯支援等の補足給付金等の計上により増額補正し、歳入歳出予算に4億4,669万8千円を追加し、予算の総額を125億8,834万円とするもの。	

令和6年第2回臨時会 審議結果一覧

議案番号等	議案等	審議結果
議案第3号	令和5年度大槌町一般会計補正予算(第9号)を定めることについて 大槌学園空調設備賃貸借事業について、債務負担行為を設定しようとするもの。	可決 (全員賛成)

令和6年第3回臨時会 審議結果一覧

議案番号等	議案等	審議結果
議案第50号	大槌町町税条例の一部を改正する条例について 「地方税法の一部を改正する法律(令和6年法律第2号)」及び「地方税法施行令の一部を改正する政令(令和6年政令第34号)」が令和6年2月21日に公布・施行されたことに伴い、個人町民税における雑損控除の特例を定めるため、所要の改正を行うもの。	可決 (全員賛成)
議案第51号	大槌町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について 「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準及び家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部を改正する内閣府令(令和6年内閣府令第18号)」の施行に伴い、所要の改正を行うもの。	
議案第52号	大槌町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について 「介護保険法の一部を改正する法律(令和5年法律第31号)」、「介護保険法施行規則の一部を改正する省令(令和6年厚生労働省令第15号)」及び「指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令(令和6年厚生労働省令第16号)」の施行に伴い、所要の改正を行うもの。	
議案第53号	大槌町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について 「介護保険法の一部を改正する法律(令和5年法律第31号)」、「介護保険法施行規則の一部を改正する省令(令和6年厚生労働省令第15号)」及び「指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令(令和6年厚生労働省令第16号)」の施行に伴い、所要の改正を行うもの。	
議案第54号	大槌町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について 「介護保険法の一部を改正する法律(令和5年法律第31号)」、「介護保険法施行規則の一部を改正する省令(令和6年厚生労働省令第15号)」及び「指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令(令和6年厚生労働省令第16号)」の施行に伴い、所要の改正を行うもの。	
議案第55号	大槌町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例について 「介護保険法の一部を改正する法律(令和5年法律第31号)」、「介護保険法施行規則の一部を改正する省令(令和6年厚生労働省令第15号)」及び「指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令(令和6年厚生労働省令第16号)」の施行に伴い、所要の改正を行うもの。	
議案第56号	財産の取得について 大槌学園空調設備を取得(所有権移転付き賃貸借契約の期間満了後の無償譲渡)するもの。	
議案第57号	令和6年度大槌町一般会計補正予算(第1号)を定めることについて 大槌学園空調設備賃借料及び住民税システム改修業務委託料計上により増額補正し、歳入歳出予算に764万3千円を追加し、予算の総額を101億1,464万3千円とするもの。	

～町政を問う～

一般質問に7議員が登壇

令和6年3月定例会の一般質問は3月5日～6日に行われ、7議員が登壇し、活発な議論が展開されました。大槌町では、一人60分以内の制限時間で質問を行いますが、本紙面の都合により要約していますので、ぜひ議場に足を運んでいただき傍聴してください。3月定例会の会議録は、5月下旬(予定)に町のホームページに掲載されます。

質問議員(質問順)	質問事項	掲載頁
1 澤山美恵子 議員	①防災について	P9
2 芳賀 潤 議員	①町長の施政方針について	P10
3 菊池忠彦 議員	①新型コロナ後の経済対策について ②獣害(イノシシ)対策について	P11
4 山崎 充 議員	①上下水道料金の改定について ②みちのく潮風トレイルについて ③人口減少対策について ④防災計画について ⑤町内飲食店等への応援策について	P12
5 佐々木慶一 議員	①大槌学園の通学方法について ②今後の災害に備えた避難所について	P13
6 臼澤良一 議員	①後期基本計画について ②上下水道の料金改定について ③小中学校給食費の無償化について	P14
7 阿部俊作 議員	①震災津波遺構について ②大槌の歴史について ③子ども子育て・学習環境について	P15

下記QRコード、または、9P～15P議員の顔写真の下にあるQRコードから、一般質問の録画画像(YouTube)が視聴できますので、ぜひご利用ください。



大槌町議会チャンネル
QRコード



YouTubeに配信している画像イメージ

町道小鎚線の道路側溝に蓋を付けて

難しいが徐々に整備していく



議員 三住 恵子
さわ やま み え こ



防災について

【問】リサイクルセンター隣の仮設住宅跡地について、避難が長期化した場合、そこに車避難した人たちは次はどこに向かえば良いのか。

【答】（島村防災・協働地域づくり担当参与）次に向かうということ

は考えておらず、車中避難と考えている。

【問】避難道路となる町道小鎚線の側溝に蓋は付けないのか。

【答】（中野地域整備課長）道路側溝改修事業だけでは国の補助メニューはな

いので難しいところはあるが、徐々に整備はしていきたい。

【問】東日本大震災津波の教訓として、役場職員は避難誘導に出ないことになったというが、避難場所と避難所等には出るのか。

【答】（平野町長）

災害があつた場合は避難所に向くが、避難誘導はしないので避難場所に向くことは予定して

【問】マンホールトイレは大槌学園と吉里吉里学園小学部にあるが、今後の整備予定は。



町道小鎚線の道路側溝に堆積する土砂等

【答】（平野町長）今のところ今後の整備予定はない。

【問】水や食料の備蓄は町全体で何日分あるのか。

【答】（平野町長）

約1日分。ただし、従前の備蓄計画が避難者数4,000人としていたため、現在はそれを令和4年3月に県が公表した津波浸水想定区域に居住する約8,000人を対象に計画変更し、5年かけて8,000人分の備蓄になるよう増やしている。

【問】高齢者や障がい者、乳幼児、食物アレルギーを持つている方々に配慮した備蓄も必要では。

【答】（島村防災・協働地域づくり担当参与）

ご自身で準備するようお願いしている。

【問】旧金沢小学校体育館にはペット用の水やフード、ペットシートなどが備蓄されているとのことだが、どれくらい用意されているのか。

【答】（平野町長）

ペットシートは60枚、ペットフードはない。水は

人用とペット用とを区別しておらず、254本備蓄している。

【問】標準的なペットフードは用意しておくべきでは。

【答】（島村防災・協働地域づくり担当参与）

犬や猫、他のペットにも対応できる一般的なものがあるのかどうか、飼い主等にヒアリングをしながら検討していく。

【問】避難の際、ペットのケージを車に乗せられない場合もあるので備蓄すべきでは。

【答】（島村防災・協働地域づくり担当参与）

年一回ペットの避難訓練をしているが、大型犬を連れてくる方もケージを持って避難していただいている。それらの実績を踏まえ、ケージはご本人に準備していただきたい。万が一、ケージがない場合は室内には入れないので車避難となる。



はが じゅん
芳 賀 潤 議員



ふるさと納税を財源とする新たな企画・政策は

町産品を活用した特産品の創出に取り組む

ふるさと納税について

【問】ふるさと納税は、政策財源補填だけではない。ふるさと納税を財源とした新たな企画・政策等を実施することにより、納税者への感謝・PRにもなると思うが、当局の見解を伺う。

【答】（平野町長）

令和6年度当初予算では、新たに寄附金を財源に特産品新規開発事業に取り組み、町産品を活用した特産品の創出に取り組んでいく。また、寄附者の皆様へ事業の取組状況のPRも積極的に取り組んでいく。

地場産業拡大について

【問】「岩手ジビエ大槌鹿」及び「岩手大槌サーモン」の今後の展開について伺う。

【答】（平野町長）

岩手ジビエ大槌鹿は、年間処理1,000頭、精肉15トンの出荷を目標に取り組んでいる。また、食肉販売・加工商品はもちろんのこと、ジビエツアーなどによる大槌町への誘客を図り、岩手ジビエ大槌鹿のPRに取り組んでいく。

岩手大槌サーモンは、令和9年度に水揚げ2,000トンを目指している。2,000トンの水揚げ加工する施設・設備などの整備、また、稚魚生産も拡大し、水揚量が増加することにより、町内経済への効果はますます増加すると見込まれる。



ご贈答にも最適な 岩手大槌サーモン ～家族とみんなで～



『岩手うめえ～もん!!グランプリ 2022』にて優秀賞を受賞したジビエ缶詰

大槌町消防団再編計画の作成について

【問】当町の消防団再編計画についての見解と計画作成の必要性について伺う。

【答】（平野町長）

消防団再編計画の見解として、大槌町の地形や町並みから、大きく5つの地域に分かれており、この地域を超えた再編は容易でないと認識している。しかし今後、計画作成の必要性が出てくると認識しており、各消防団のそれぞれの地域における役割やつながりを考慮し、再編することにおける課題等について消防団と協議・検討していく。

分掌、管理体制の職員教育について町の見解を伺う。

【答】（平野町長）

新たな組織体制を構築するにあたり、課長補佐及び係長の職責を、それぞれ行政組織規則において明記する。課長補佐については、課長の補佐及び職務の代理、所属職員の指揮監督を、係長については、部下職員の指揮監督について規定し、階層ごとの職務、職責を明確化することで、段階的に将来を見据えた職員の育成を行い、職員の業務遂行能力の向上を図っていく。

役場組織の改編について

【問】令和6年度から課長補佐・係長制度を導入することとあるが、役職における役割と事務

地域経済活性化への取り組みは

多角的な取り組みを図っていく



議員 田達 忠彦



新型コロナウイルス後の経済対策について

【問】コロナ禍からの脱却が進んだとは言え、依然として厳しい状況に置かれている町内事業者もいる。地域経済活性化へ向けて町はどのような取り組みを行っているのか。

【答】（平野町長） 町民及び圏域による経済活動を促し、販路や商圏を町外まで捉えた事業展開を推進していく必要があると考えている。具体的には、町外に向けた販路開拓として、ふるさと納税返礼品の購入やお土産品などの特産品開発を行っている。

【問】ふるさと納税の寄付額が昨年度より大幅に伸びて約9億円となっているが、関係機関の努力の賜物と高く評価するところである。業務支援に關して、6年度から外部委託の取りやめと聞いているが業務への影響はないのか。

【答】（岡本産業振興課長） 昨年10月の制度改正により、コスト上昇の影響が懸念されることから外部事業者の支援を打ち切る決断をした。今後は事業主体である観光交流協会の負担にならないよう、事業の再編等を行いながら取り組んでいく。

【問】経済活性化の取組みの一つとして行っているイベント事業も大変な賑わいを見せている。その日限定にこだわるだけではなく、長期的な戦略も必要と感じるが見解は。

【答】（平野町長） 長期的な視点で町への誘客を図っていく必要があると思う。複合的な問題でもあり、宿泊飲食等を含めて、トータル的に町の活性化につながるものと考えていく必要があると感じている。今後担当課、関係者を交えてしっかりと協議を行っていく。

【問】一時しのぎではあるが、消費需要の喚起という意味で、町民、町内事業者から要望の多い地域応援券、プレミア商品券の配布を強く求めるが見解は。

【答】平野町長 物価高騰対策として現在、キャッシュレス決済事業を予算化している。

今後状況を見ながら、必要であれば商工会、関係団体と連携を取りながら施策を打っていく。

獣害（イノシシ）対策について

【問】近年、当町においてもイノシシの目撃情報が相次いでいる中、農作物、人的被害が懸念されている。イノシシ対策について今後の町の対応を問う。

【答】（平野町長） 農林水産省では、鳥獣被害対策は、個体群管理、侵入防止対策、生息環境管理の3本柱が基本になるといって考え方である。当町においても、この3つの対策方法について重点的に実施し、イノシシ・クマ・シカなどの鳥獣に対する被害対策を複合的に実施し、農作物被害軽減や、安全な住環境の整備に取り組んでいく。



町内に出没したイノシシ



やま さき みつる
山崎 充 議員



今後の備蓄計画は

8,000人分となるよう増加していく予定

防災計画について

【問】避難が必要な町民に対する食糧等の備蓄の充足状況と今後の備蓄計画は。

【答】（平野町長）

従前の備蓄計画は約4,000人の避難者について備蓄を行う計画となっており、県が公表した日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震による津波浸水想定は、東日本大震災津波の浸水範囲よりも広く、備蓄計画もこの発表をもって見直し、5年をかけて、8,000人分の備蓄となるよう増加させていく予定である。



防災ハザードマップ 非常持出品・備蓄品に関するページ

【問】災害対策本部設置時における、本部長、副本部長が不在の場合の「代行者」等をあらかじめ選任し、防災計画に加えるべきではないか。

【答】（平野町長）

大槌町業務継続計画において、町長不在時の職務代行順位について、1位に副町長、2位に教育長、3位に技監、4位に総務課長、5位に防災対策課長、6位に企画財政課長と定めている議員御指摘の津波が発生する状況下では、この代行順位に従い、災害対策本部を運営する予定となっている。



東日本大震災津波伝承館に展示されている「大槌駅看板」

上下水道料金の改定について

【問】今後の料金見直しの時期や計画は。

【答】（平野町長）

料金見直しは、5年を目安に料金等の適正水準を検証することとしている。次の改定時期は令和11年度で、以降同様のサイクルで見直しを図っていく。

人口減少対策について

【問】当町は人口が2050年には5,394名と現在より51%減少するとの総務省の見込みと、その時の65歳以上の人口が

48・5%を占めるとのデータがある。税収も国からの交付金も大幅に減り、厳しい財政状況になると思うが、人口減少に対する町の具体策は。

【答】（平野町長）

総合計画の中の基本方針1「産業を振興し町民所得を向上させるまちづくり」を最も重要な基本施策と位置付けている。総合計画を着実かつ計画的に実行し、誰もが「この町に住みたい、住み続けたい」と思える「魅力的」で「安全安心」なまちの実現が移住定住につながる。人口減少の抑止になるものと考えている。

町内飲食店への応援策について

【問】アフターコロナになっても町内の飲食店、商店の町民の利用が回復していない。「おおちゃん地元応援券」等の今後の発行計画について伺う。

【答】（平野町長）

現在のところ、「おおちゃん地元応援券」の発行予定はない。令和6年当初予算では、キャッシュレス決済によるポイント還元事業に係る予算を計上しており、本年6月に実施したいと考えている。引き続き、町内経済の活性化に取り組んでいく。

スクールバス運行範囲の見直し行うか

今後検討する余地はある



さ さ き けい いち
佐々木 慶一 議員



大槌学園生の通学方法について

【問】大槌学園生のスクールバス運用基準は。

【答】(吉田学務課長)

国の基準にのっとり、小学生で4km以上(ただし2年生までは2km以上)、中学生で6km以上でスクールバス利用可となる。

【問】一部自家用車利用者がいる。その理由と人数は。

【答】(吉田学務課長)

体調不良等で、30人程度は自家用車の使用を許可している。

【問】実際は100人以上いるが、その理由は。

【答】(吉田学務課長)

基準距離内は徒歩通学を推奨しているが、保護者の判断で自家用車利用の家庭もある。

【問】通学距離が2km以上だと長いと考え、またスピードを出す車や通路の熊出没等に危険を感じ、自家用車を使用しているのではないか。特に

榎内地区や桜木町地区、大ヶ口地区は全員徒歩通学となっているが、あまりに遠すぎるのではないか。

【答】(吉田学務課長)
今の基準で通学してもふうようお願(ご)い(ご)する。

【問】保護者からスクールバス利用希望の声はないか。

【答】(吉田学務課長)

学校運営協議会や学園長、教育委員会等には寄せられていない。

【問】学校で「こう決まっているから」と言われると、保護者としてももうそれ以上発言しにくいのではないか。「こう決まっているから」ではなく、まずは保護者がどう考えて何を希望しているのかを聞くことが必要ではないか。

【答】(松橋教育長)

引き続き保護者への理解を求めていく。現時点ではバス台数も足りないが、今後検討する余地はある。



大槌学園生の徒歩通学範囲



白澤 良一 議員



トップの判断で学校給食費無償化を

引き続き、国・県に要望していく

後期基本計画について

【問】住民説明会への参加者を増やすための取組として、当日の様子をケーブルテレビやSNSなどで発信することも必要ではないか。

【答】（平野町長）
多いところで22名の参加だったが、2〜3名程度の会場もあった。SNSの活用や、自治会・町内会を通じて周知を図っていく。

【問】町民アンケートの調査で、10代から30代の回答では「子育て分野」と「人口減少対策」を重点に取り組むとあったが、どのように反映させるのか。

「こども家庭センター」

【答】（平野町長）
「こども家庭センター」の設置や総合計画に掲げる全ての施策がこれらの対策につながる認識している。

上下水道の料金改定について

【問】下水道は令和7年度、上水道は令和8年度からと順次引き上げられるが、数年かけて改定すべきではないか。

【答】（平野町長）
当初は令和6年4月を想定していたが、令和7年、令和8年と段階的な改定とした。



生活に欠かせない水道水

【問】漏水箇所と、その水量を金額に換算すればどれくらいか。

【答】（平野町長）
漏水発生箇所の特定は困難。収益化できない水量を給水原価で換算すると、令和4年度で年間9,500万円ほど。老朽管

更新工事を重点的に推進・継続していく。
【問】老朽化している地域は町全体の何割か。

【答】（阿部上下水道課長）

耐震化の更新延長は4割ほど。残り6割ほどは今後、更新等が必要。

【問】今後の老朽管の更新工事の計画は。

【答】（阿部上下水道課長）
浪板地区の延長2.1kmを更新予定。令和4年度から着手しており、7年度まで進める予定である。

小中学校給食費の無償化について

【問】全国的に無償化が増えている中、自治体トップの判断でできないか。

【答】（平野町長）

物価高騰分の負担を継続しながら、国・県に対する無償化の要望を引き続き行なっていく。

援ではないか。

【問】給食費の無償化は、子育て支援に直接届く支

【答】（平野町長）
総合計画の中で「子育て環境の充実」を掲げ、「子育てパッケージ」の全体像を検証しながら判断していく。



学校給食の様子

震災遺構は災害学習教材

伝承に何が必要か検討中



あべ しゅんざく
阿部俊作議員



震災津波遺構について

【問】実際にあった建物の一部でモニュメントをつくり、震災津波の遺構にすることは、災害学習に大事な教材になると思うが当局の見解は。

【答】（平野町長）

令和3年度から交付金を活用して震災遺構跡地である旧民宿あかぶ跡地にモニュメントの整備を検討してきた。しかしながら意見の集約には至らず、本年度で交付金事業は終了する。災害学習や伝承活動に何が必要か幅広い視点で有効な手段の検討を進める。



赤浜の震災遺構と蓬莱島

大槌の歴史について

【問】未来に向けて私たちも歴史を創っている。私たちの想い・文化、そして先人の思いや願いを伝えることも大事なことである。最近の歴史調査の状況について伺う。

【答】（松橋教育長）

県指定史跡の大槌城跡や前川家文書など貴重な歴史文化は多くの人の手で受け継がれ守られてきた。歴史文化は現代に生きる我々の責務として、しっかりと守り継承していくべきものと考えます。今後は「文化財保存活用地域計画」の策定に取り組む。



大槌城歴史公園

「大槌の尼寺」や「小鎧寺野滝不動」について、関係者への聞き取りや現地調査により、そこで句会なども開かれたことが明らかになった。積極的に調査を進めることにより大槌の歴史に触れ、魅力を感じられるよう文化財保護推進に努めていく。

子ども子育て・学習環境について

【問】物価高は家庭に大きな負担をかけている。県内の市町村でも子育て支援としての学校給食費の無償化をしているところが増えてきており、全国的にも学校給食費無償化が広がっている。町内の保護者からも要望があり、もう一度学校給食費無償化について見解を伺う。

【答】（平野町長）

県内でも給食費無償化は増えてきているが、子育て支援の一環として行っているものと認識している。当町では早い段階で第一子からの保育料無償を実現しているほか、今年度は新たに高校生までの医療費の無償化を実施し、給食費は物価高騰分の負担を実施している。今後とも、県に対する（給食費）無償化の要望は続けていく。

私たちの考えを議場で発表

大槌高校 総合的な探究の時間「SIMulation おおつち」議場発表会

去る、2月20日、大槌高校生による地域と協働した探求的な学び「SIMulation おおつち」の成果発表会が当役場議場で行われました。昨年度は大槌町文化交流センターおしゃっちにて、地域の方々に向けて広く探究活動の成果を発表しましたが、今年度は議員に対して議場で発表する機会をとのことで実現に至りました。

最初は緊張した面持ちでしたが、いざ発表が始まると議員の前で堂々とした態度で臨んでいました。



議員との記念撮影

◎今年度のテーマは次のとおりです。

総務教民常任委員会

- ① ふるさと納税を活用した町民サービス向上施策を考えよ
- ② 地域の防災に関わる消防団の担い手増加のための施策を考えよ
- ③ 若者の声を取り入れた地域づくりのための施策を考えよ

産業建設常任委員会

- ① 大槌町民の磯焼けへの意識を高め、大槌の海を守るための施策を考えよ
- ② 震災の被害と教訓、復興への想い・感謝、希望を将来の世代につなげていくための(仮称)鎮魂の森の活用方法を考えよ
- ③ 若者の声を取り入れた地域づくりのための施策を考えよ



「SIMulation おおつち」とは

大槌高校が町と協働して行っている高校魅力化推進事業の一環として毎年実施しているもので、将来の大槌町の姿を想像し、解決すべき様々な地域課題に対して、高校生ができることを構想する取り組みです。

参加した生徒の感想（一部抜粋）

- ・議場で話すことは初めてだったので、とても良い機会になりました。
- ・初めてで不安もありましたが自分の意見をしっかりと伝えることができました。
- ・議員の方々から難しい意見も多く、自分たちと違う見方もあって難しかったけどとても良い経験になりました。
- ・今回提言したことで、少しでも大槌町に貢献できれば嬉しいです。



東部町村議会議長会活動報告

去る、令和6年1月20日、山田町中央公民館において、令和5年度東部町村議会議長会議員研修会・議員交流会が開催され、当町議会議員も参加しました。議員研修会は、講師に財務大臣の鈴木俊一氏を迎え、「財政政策を中心とした国政の課題と展望」と題し、ご講演いただきました。



財務大臣 鈴木俊一氏による講演の様子



記念写真



表紙写真の紹介



本号の表紙の写真は、船越湾でのワカメ漁の様子です。



2月下旬、当町を含む沿岸部の浜に春を告げるワカメの収穫が始まりました。地元漁師は、まだ日が出ていない深夜から出港し、寒さに耐えながら収穫作業を行います。3月に入り漁も本格化。漁港では早朝から水揚げとボイル作業が盛んに行われています。

ワカメが良質に育つために必要な条件の一つに水温が低いことが挙げられます。ところが近年の三陸沿岸は過去類を見ないほどの高水温。特に今年



年はなかなか水温が下がらず、2月上旬まで水温が10℃近い日が続いていました。今年

町議会を傍聴してみませんか

町議会定例会は、3月、6月、9月、12月の年4回、役場3階の議場で開かれます。町で今何が課題となっているかなど、議場での議員の活動を実際に見て、知っていただく機会です。傍聴の手続きは簡単ですので、ぜひ傍聴にいらしてください。また、定例会の様子は「おおちゃんねる」、「YouTube」でも視聴いただけます。

● 6月定例会は6月7日(金)開会予定です
(注: 予定は変更される場合があります)

編集後記

▼1月1日に発生した令和6年能登半島地震で亡くなった方々の安霊と避難中の皆様へのお見舞いを申し上げます。東日本大震災から13年経過して当時のことを思い出します。東日本大震災から13回目目の3・11を迎えました。当町で犠牲になられた1,286名の方々へ哀悼の誠をささげたいと思います。まだまだ心の復興は道半ば、また近年の新型コロナウイルスで近隣とのコミュニケーションの取りづらさで、ますます孤立が顕在化している状況です。町民の代表者たる我々町議会議員は何ができるのか、自問しながら皆様へ寄り添って参ります。

議会広報特別委員会

- 委員長 菊池 忠彦
- 副委員長 澤山美恵子
- 委員 東梅 康悦
- 阿部 俊作
- 白澤 良一
- 山崎 充